

英語による課題研究発表会

去る6月14日、3年次SSHクラス40名10班による「英語による課題研究発表会(International Science Exchange)」が本校体育館で開催されました。これは昨年に実施された課題研究発表会の研究成果を、全て英語で発表し質疑応答を行ったものです。当日は、県の指導主事・弘前市内のALT(外国语指導助手)をはじめ、県内の中学・高校の先生方が30名来校されました。ALTの先生方の質疑応答が予想よりも多く苦戦しましたが、練習の成果も随所に見られ充実した発表会となりました。なお、今年度の課題研究発表会は12月に行われる予定です。



いよいよ今年度も大学受験の幕が切って落とされました。現在、本校でもAO・推薦受験の生徒たちは志願理由書等の推薦に余念がありません。公立大学の中には書類選考を経て、すでに面接試験を実施した大学もあります。今年度もAO・推薦入試、センター試験、そして私立大学・国公立大学個別試験の順に受験日程が進んでいくことになります。

大学受験を例えて、「団体戦」という言い方をすることがあります。私なりに言えば、切磋琢磨する仲間がいて、教え導く教師がいて、そして陰になり日向になり支えてくれる家族がいて受験に向かっていく、その様を言い表しているのです。特に競い合い励まし合いながら過ごすクラスメートの存在は欠くことのできないものです。言うまでもなく、進路達成の方針はみな異なりますが、生徒たちは目に見えない辛い登山をともにしている様な連帯感を持つのです。結果が第一志望通りになるに越したことはありませんが、そうならない場合も多々あることは自明です。しかし、孤独に耐え、自分の目標に向かい努力をするのです。結果が第一志望通りになるに越したことはありませんが、そうならない場合も多々あることは自明です。

受験終盤期には、辛さや不安を友人と共有することは望めない状況になります。そんな時は日頃寝食をともにいつも側にいてくれる家族があるときには、見守ってくれる家族がいて、静かに応援してくれるいるということを励みにして、進路目標達成に向けた努力をして欲しいと思います。



受験期を迎えて

教頭 金谷 克憲

です。その様な努力によってもたらされる経験と受験への取組を振り返っての自己評価が卒業後の自分を大きくしてくれます。

関話休題。今の高校生は一人になることを嫌います。一人になることに不安を感じるのだろうと思うのです。スマートフォンの普及に伴い、SNSで誰かと繋がり共感を得ることで不安を解消していく様に感じます。前段で述べた様に、受験は団体戦という言い方をするときもありますが、進路目標達成は極めて個人的な営みで、受験期に経験する不安には一人で立ち向かうほかありません。日頃から自分と向き合う経験：いわゆる部活動でも勉強でも目標を定め自分で高める努力をした経験があるならば、そのことが自信となり辛い状況にあっても自力で乗り越えていく推進力となるものです。

受験終盤期には、辛さや不安を友人と共有することは望めない状況になります。そんな時は日頃寝食をともにいつも側にいてくれる家族があるときには、見守ってくれる家族がいて、静かに応援してくれるいるということを励みにして、進路目標達成に向けた努力をして欲しいと思います。

第56回

南高祭

Splash!

～輝く青春を走れ～

7/7(土) 校内祭
7/8(日) 一般公開
7/9(月) 市民会館

25HR



35HR

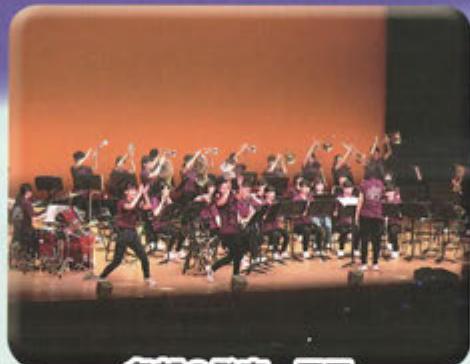


15HR





今年初めて作成した各ホームルームの旗



各部の発表・展示



取材中には、在学中の思い出話も聞かせ
ていただき、学校がある限り南高饅頭を作
り続けていきたいと笑顔で話していたのが
印象的でした。これか
らも末永く
受け継がれ
ていくこと
を心から願
います。



初め百個から始まり多い時は二千個も作つたそうです。現在は一日のみの販売となつた為、千個の販売となっています。お店には、卒業生が懐かしんで訪れたり、結婚式のお祝いに使いたいと訪れる方もいたと教えて下さいました。

だいている「菓子司みしま」の四代目三鶴克彦さん（二十五回生）へ南高饅頭にまつわるお話を伺つて来ました。

今から約二十年前、和徳町にお店を構えていた平尾菓子舗が作つていましたが、閉店に伴い焼印を譲り受け、みしまさんが作る事になり現在に至ります。

販売開始と共に行列ができる、お昼を待たずにして完売してしまう南高饅頭。その大人気の饅頭を作っていた

南高饅頭のルートを辿り





第56回 運動会

平成30年9月4日(火)



障害物競走



10人11脚競走



-100m走



色別対抗職員競技



パン食い競走



長縄跳び



閉会式



借り物競走



部対抗リレー

運動会恒例イベント「南高音頭」の歴史について、現浪岡高校の宮本裕嘉先生（二十九回生）から聞いた話を元に案内します。

今から二十数年前、南高創立三十周年ということで、生徒会担当の先生から「何かやらないか」という提案があり、「スーパーダンス実行委員」が中心となり、全校からアンケートをとりましたが特に目立つた内容のものはなかったので、「あえて今風のものでなく、益踊り的なものにしてよう」ということで南高音頭を考えました。

◆南高音頭〈歌詞紹介

やくら咲く咲く 津軽野の
夢を見る見る 我等が仲間
ハア一 ヨイショ
熱さハートに火をつけろ
春の岩木の 山裾で
いつもにじにじ
いつわじりこい 南高音頭

「高音頭」の歴史について、現浪岡高校の宮本裕嘉先生（二十九回生）から聞いた話を元にご案内します。

今から二十数年前、南高創立三十周年ということで、生徒会担当の先生から「何かやらないか」という提案があり、「スーパーダンス実行委員」が中心となり、全校からアンケートをとりましたが特に目立つた内容のものはなかったので、「あえて今風のものでなく、益踊り的なものにしよう」ということで南高音頭を考えました。

同じように、歌詞も募集しましたが、良いものがなったそうです。作詞は一応「南高生」としました。作曲の音頭村というのは、中心となつて作ったメンバーのユニット名(?)のことです。先生方はノータッチ。作詞作曲編曲振付を全て生徒だけで行いました。

当時は、南高祭で、キヤンブファイヤーを囃みながらの実施でした。

これからも南高音頭を大事に守つてもらいたいと思います。

無ぐするなよ!!



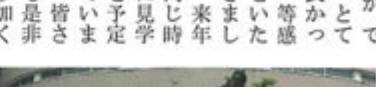
南高音頭の誕生秘話

大学見学会

六月二十六日、進路對策委員

六月二十六日、進路対策委員会主催で「PTA大学見学会」を実施し、国立大学法人秋田大学、公立大學法人国際教養大学を訪問しました。概要説明の後は活発な質疑応答がなされ、非常に充実した時間となりました。施設見学では、国際教養大学中嶋記念図書館の美しいデザインに感動し、思わず参加者全員がカメラマンになってしまいうつ場面もありました。早朝出発にも関わらず保護者二十名が参加し、「複数の大学を見学てきて満足している」「実際見なければわからぬことがあります」と、参加

して良かった」「南高卒業生と話がで
き、とても良かつた等感想をいた
だきました。来年も同じ時期に見学会を予定していま
す。皆さんも是非ご参加ください。





文化委員會

津軽塗体験

六月九日(土) 文化委員会の主催で、「津軽藩ねぶた村」にて津軽塗りの著研ぎの体験をさせて頂きました。

すでに何回も重ね塗りしてある漆のものを紙やすりで水研ぎして模様を描えて仕上げていくのですが、講座に参加した人により時間の早い遅いがあつたり、講師の話をきちんと聞く

広報副委員長 丹代奈津子

ていたはずなのに、皆それぞれの解釈で作業をしてしまつたりと、講師に迷惑をかけたところもありました。ですが、その後職人が仕上げの漆を塗り、磨きをかけ、約二週間後に私の作った箸が手元に届いた時にはとても嬉しかったです。

生徒指導委員会

朝の挨拶運動及び登校指導の実施

外部
木村
真明

生徒指導委員会では、八月二十七日(月)と二十八日(火)の二日間、「朝の挨拶運動及び登校指導」を行いました。これは、昨年度の最後の委員会での反省を受けて、今年から実施されたものです。二十七日には五人、二十八日には八人の保護者の方



時代が求める

PTA全国大会

PTA会長 佐々木正和

去る八月二十一、二十二日に開催された第六十八回全国高等学校PTA連合会佐賀大会に参加しました。本大会は「混沌の時代を生き抜く子どもたちが…私たちPTAがその支えとなり、希望の明日を…」と社会の課題解説に真正面から考える趣旨の各プログラムが用意され、様々な事例発表や研究協議が行われました。一日目の基調講演では、ラジオのDJやテレビ番組の司会として活躍するレモンさんこと山本シユウ氏が、黄色と緑の衣装をまとい、大きなレモンの剥り方を披露し、高校生と保護者へのメッセージを熱く語ってくれた。お堅い基調講演という従来のイメージを覆す出で立ちで登場。会場は度肝を抜かれたのもつかの間、その内容は元PTA会長やメンタルコーチとしての立場から、保護者や指導者が子供たちを見守り、気づきを与える存在になるための

割を改めて考えさせられた機会となつた。

また、研究発表では「A-I（人工知能）とともに歩む未来」と題し、A-Iの発達が職業の在り方、高校生の進路選択にどのような影響を与えるかについて意見交換するパネルディスカッションが行われ、私を含め会場の大部分がA-Iの発達で人間との仕事が奪われるという誤解を解くために、各分野の専門家がそれぞれの立場からA-Iとの共

教えるのではなく「気づかせる」、怒るのではなく「考えさせる」、押し付けるのではなく「自信をつけさせる」という大人のスタンスを目指す必要があるのではないか。今回得られた「この教え」を吸収し、次代を担う子供たちが自分らしい大人になれるように、我々大人が少しでも役に立つことができるよう、今後がんばろうと、「一瞬」思いました。以上、全国大会への参加報告でした。

親と子と教師の集い

た。
記念講演の後、参加者はグ
ループに分かれ、保護者と生
徒たちと一緒に面接を行
った。

ていよいよ結婚式でした。本校の生徒のすばらしさを感じました。来年はもっと多くのPTA委員が参加できればと思ひます。

「津軽塗り」の工程の多さとて
いねいさを学ぶ事ができ、貴重
な体験をさせて頂きました。あ
りがとうございました。

学校からは生徒五名、先生二名とPTA委員二名が参加しました。全体のテーマは「次代に伝える」地域と学校と家庭をつなぎました。

「フォーサイズ・エドワード
ぐ発信力」でした。このテーマ
マに基づいてフリーアナウン
サーの成田樹里さんによる「地
域情報の発信力効果」について
記念講演があり、アナウンサー
と司会について色々なことを教

前南高等学校の藤井香香さんは、弘前の食材や歴史、伝統、自然など弘前の特色を県外の人や観光客に伝えることについて発表しました。また他の高校の代表からは様々な地球資源の活用について素晴らしい提案がありました。保護者と生徒の発表は興味深く、色々なアイデアについて聞くことができました。このイベントはとても面白く、からの発表を聞きまし



部活動の記録

赤字は東北大会出場 青字は全国大会出場

サッカーチーム

第71回青森県高等学校総合体育大会サッカー競技
ベスト8

テニス部

青森県高体連テニス専門部夏季団体戦

男子 7人制団体 3位
男子 4人制団体 2位

第71回青森県高等学校総合体育大会テニス競技
男子 団体 2回戦敗退
女子 団体 ベスト8

バスケットボール部

青森県高等学校春季バスケットボール大会

男子 2回戦敗退
女子 ベスト8

第71回青森県高等学校総合体育大会
バスケットボール競技

男子 ベスト16
女子 ベスト8

バドミントン部

第71回青森県高等学校総合体育大会

バドミントン競技

男子 学校対抗 2回戦敗退
女子 学校対抗 2回戦敗退

バレーボール部

平成30年度弘前バレーボール協会
選抜高校春季大会

男子 第2位

平成30年度 青森県高等学校
春季バレーボール選手権大会

男子 2回戦敗退
女子 2回戦敗退

第71回 青森県高等学校
総合体育大会バレーボール競技

男子 1回戦敗退
女子 ベスト16

ラグビー部

青森県高等学校春季ラグビーフットボール大会

Bブロック 2位(合同チームで参加)

青森県高等学校総合体育大会

ラグビーフットボール競技

Bブロック 3位(合同チームで参加)

平成30年度全国高等学校

ラグビーフットボール大会青森県予選会

1回戦敗退(合同チームで参加)

弓道部

平成30年度春季県下高等学校弓道大会兼

第73回国民体育大会少年部候補選手選抜会

男子 団体 予選敗退

女子 団体 予選敗退

青森県高校総体弓道競技大会

男子 団体 予選敗退

女子 団体 予選敗退

空手道部

平成30年度青森県高等学校体育連盟空手道専門部春季大会

女子 団体組手 第3位

男子 団体組手 第3位

女子 個人形 優勝 金指 由維

女子 個人形 第2位 工藤あす香

第71回青森県高等学校総合体育大会空手道競技

女子 団体組手 第3位

男子 团体組手 第3位

女子 個人形 第2位 金指 由維

インターハイ出場

女子 個人形 第3位 工藤あす香

金指 由維

女子 個人組手 第5位 金指 由維

男子 個人組手 第3位 竹中 達常

剣道部

第71回青森県高等学校総合体育大会剣道競技

男子 個人 一回戦敗退 伊藤 雄大

水泳部

第71回青森県高等学校総合体育大会水泳競技大会

女子100m 背泳ぎ 第6位 太田 唯

女子200m 背泳ぎ 第4位 太田 唯

女子200m 背泳ぎ 第8位 長内 結杏

第71回青森県高等学校選手権水泳競技大会/第66回東北高等学校選手権水泳競技大会県予選会

女子100m 背泳ぎ 第4位 太田 唯

女子100m 背泳ぎ 第6位 長内 結杏

女子200m 背泳ぎ 第4位 太田 唯

女子200m 背泳ぎ 第8位 長内 結杏

卓球部

平成30年度第18回青森県春季高等学校

卓球選手権大会

男子 学校対抗 4回戦敗退

女子 学校対抗 3回戦敗退

第71回青森県高等学校総合体育大会卓球競技会

男子 学校対抗 4回戦敗退

女子 学校対抗 2回戦敗退

女子 ダブルス 第10位 柏崎 可倫

田川ほのか

陸上競技部

第44回青森県春季陸上競技選手権大会

女子200m 第7位 葛西 悅海

女子400m 第5位 葛西 悅海

女子100m(Jr) 第4位 樋口 愛里

青森県高校総体陸上競技大会

女子400m 第6位 葛西 悅海

第73回北日本陸上競技選手権大会

男子1500m 第6位 八島 光勇

男子5000m 第4位 八島 光勇

女子200m 第6位 葛西 悅海

女子400m 第5位 葛西 悅海

男子4×400mリレー

第7位 伊藤・柴田・藤田・木村

女子4×400mリレー

第6位 葛西・森山・山田・鳴海

硬式野球部

第100回全国高等学校野球選手権記念青森大会

3回戦 0-15 青森山田高校

自然科学部

第42回全国高等学校総合文化祭 信州総文祭

自然科学部門 出場 北山二千翔

須藤 陽也

笹田 航翌

視聴覚部

平成30年度青森県高等学校放送コンテスト兼第65回NHK杯全国高校放送コンテスト青森県予選会

テレビドキュメント部門

第1位 「神席探し」

ラジオドキュメント部門

第4位 「ツナガルネイロ」

アナウンス部門 第6位 工藤 恵

朗読部門 第6位 山口捺奈可

アナウンス部門 入選 清藤 美玖

アナウンス部門 入選 小西 紗礼

朗読部門 入選 斎藤 謙

朗読部門 入選 山田 美月

朗読部門 入選 小山内桜花

第42回全国高等学校総合文化祭 信州総文祭

放送部門 出場 野呂 美織

清藤 美玖

田村 佳子

書道部

第42回全国高等学校総合文化祭 信州総文祭

書道部門 出場 阿部 春花

写真部

第42回全国高等学校総合文化祭 信州総文祭

写真部門 優秀賞 葛西 悅里

奨励賞 伊藤 文乃

全日本写真展2018

高校生の部 金賞 葛西 悅里

入選 工藤 朱夏

将棋部

第61回県高校将棋選手権大会

個人戦 第3位 工藤 斗也

進路勉強会のお知らせ

「今さら聞けない

大学受験～

基本の「キ」】

12月2日(日)

10時より

本校 会議室で

詳細は学校からの案内をご覧下さい



「研ぐ」

第42回全国高等学校総合文化祭 信州総文祭
写真部門 優秀賞 葛西 悅里



空手道部 インターハイ出場 金指 由維

第73回北日本陸上競技選手権大会

男子1500m 第6位 八島 光勇

男子5000m 第4位 八島 光勇

女子200m 第6位 葛西 悅海

女子400m 第5位 葛西 悅海

男子4×400mリレー

第7位 伊藤・柴田・藤田・木村

女子4×400mリレー

第6位 葛西・森山・山田・鳴海